2023年度水俣フォーラム 事業計画

総会開催時点では下記の事業を計画している。特に 6 年ぶりの水俣展となる福岡展は、2 万人の来場者を目標にしており達成は容易ではないが、地元の協賛団体やサポーター、水俣の人たちの協力を得ながら開催のための準備を進めている。また「展示物のリニューアルと新規制作」「水俣展全図録の刊行」は福岡展までに遂行することで、リニューアルした展示は同展が初公開の機会となる。京都展、東京展の会場確定と準備の開始も今年度に必ず達していなければならないことと考えている。

１. 水俣病公式確認６０年記念事業

①展示物のリニューアルと新規制作

②水俣展全図録の編集、刊行

２. 水俣展

①福岡展　10 月 7 日～ 11 月 14 日、福岡アジア美術館、想定入場者 2 万人

②京都展　2024 ～ 25 年の会場を確定、開催準備

③東京展　2026 年の会場を確定

④その他　他の開催候補都市の調査・働きかけ

３. 講演会開催（いずれもオンラインを併用） ※

①記念講演会　第 19 回の開催

（4 月 29 日、京都･立命館大学朱雀キャンパス、729 人、うち来場 478 人）

第 20 回の開催準備（2024 年 4 月 29 日、東京･有楽町マリオン朝日ホール）

②水俣セミナー　2 回開催、新宿常円寺、50 人規模

（ただし他の事業の状況等により柔軟に変更、展開する）

４. 機関誌発行

①水俣フォーラムNEWS　1 回発行、3 月、3 ～ 4 千部

５. インターネットによる発信

①各種 SNS での発信（催し案内、コラムの定期連載）

②海外向け多言語発信（各言語専門家と翻訳ボランティア体制の確立と発信）

６. その他の事業　※ ①②は他の事業や感染状況等により柔軟に変更、展開する

①水俣病読書会（冬期、第 8 回）

②水俣への旅の催行（3 月、第 17 回、15 ～ 25 人）

③水俣病ライブラリーの恒常的整理（書籍、映像、写真、音声）

７. 水俣病関連書籍の出版編集協力　※他の事業等により柔軟に変更、展開する

①石牟礼道子エッセー集　編集進行

８. 総会・理事会・運営委員会

①総会　6 月、全会員（決算、予算、役員選任）

②理事会・運営委員会（理事会 1 ～ 2 回、合同運営委員会 6 ～ 8 回程度）

９. 事務所機能向上のための取り組み

①事務所の書棚とファイル棚の整備

②展示物更新を含む倉庫の整理と不用制作物・資料の廃棄　秋期

１０. 助成、補助金等

①環境再生保全機構地球環境基金助成金

2023 年度　500 万円内定、3 年計画の 3 年目

「オンラインと対面型の併用による水俣病の普及啓発と人材育成」

2024 ～ 26 年度新規助成応募、水俣病公式確認 70 年事業として　11 月

②新規助成・補助金等申請の検討

SDGs ジャパンスカラシップ岩佐賞、地球倫理推進賞、コロナ関連補助金など